

2022年9月中間期

ディスクロージャー誌



Semi-Annual Report

静岡中央銀行の現況

SHIZUOKA CHUO BANK

**お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして信頼される銀行を目指して**



取締役社長 **清野 真司**

皆さまには、平素より静岡中央銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

おかげさまで、業容も着実に拡大しており、これもひとえに皆さまのご支援の賜物と深く感謝しております。

このたび、静岡中央銀行をより一層ご理解いただき、さらに身近に感じていただくため、2022年9月中間期ディスクロージャー誌を作成しましたので、ご一読いただければ幸いです。

当行は、2022年4月より2年間を計画期間とする第14次中期経営計画「深化」をスタートいたしました。

基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、持続可能なビジネスモデルの深化を図っていくとともに、お客様と地域に寄り添いながらニーズや課題にお応えする（解決する）努力を続けていくことで、地域金融機関として、「お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行」であることを役職員一丸となって目指してまいります。

今後も、皆さまのベストパートナーとして、幅広いお客様のニーズに迅速かつ適切に対応し、地域金融機関としての役割を果たせるよう努めてまいりますので、皆さまにおかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年1月



静岡中央銀行 2023年カレンダー「富士山フォトコンテスト」最優秀賞「春雪の朝」稲 朋和氏 撮影

CONTENTS

ごあいさつ	1	2. 業績ハイライト(単体)	
静岡中央銀行のプロフィール	2	2022年度 中間決算概要	4
1. 経営方針		3. 地域の皆さまとともに	
経営理念	3	地域密着型金融の推進	6
中期経営計画	3	資料編	11

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー誌です。

静岡中央銀行のプロフィール (2022年9月30日現在)

本店所在地	沼津市大手町4丁目76番地
設立	1926年(大正15年)11月12日
資本金	20億円
預金	7,152億円
貸出金	5,893億円
店舗数	43店舗
	(静岡県内 23本支店 3出張所)
	(神奈川県内 14支店 2出張所)
	(東京都内 1支店)
従業員	452人

経営理念

堅実で健全な経営

当行は、経営理念「堅実で健全な経営」のもと、地域経済活性化への貢献に努め、地域と共に成長し地域金融機関としての企業価値を高めることにより、お客様・地域社会のベストパートナーとして信頼を得る。



中期経営計画

●当行は、2022年4月より、第14次中期経営計画「深化」～持続的成長に向けた挑戦～（期間2年間）をスタートいたしました。基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである訪問頻度管理を深化させ、今後もお客様と地域に寄り添った支援を継続するとともに、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組むことで“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナーとして信頼される銀行”を目指してまいります。

第14次中期経営計画
深化 持続的成長に向けた挑戦

期間 / 2022年4月～2024年3月(2年間)

経営理念
堅実で健全な経営

目指す銀行像
**お客様・地域社会と共に発展し
ベストパートナーとして
信頼される銀行**

基本方針
お客様中心主義の深化
“ビジネスモデル=訪問頻度管理”を深化させ、お客様と地域に寄り添ってニーズや課題に応える(解決する)ことで、共に発展を目指す。

5つの基本戦略

I お客様中心主義の実践
1.信頼される行動の実践
2.3つのCCの実践
3.お客様・地域社会の発展に貢献し利便性の高い商品サービスの拡充

II 営業改革の実践
1.訪問頻度管理のステップアップ
2.金融仲介機能の発揮と地域経済活性化への貢献
3.預貸併進とロイヤルティの高いお客様の拡大

III 業務改革への挑戦
1.生産性向上に向けた業務改革
2.経費の最適化と環境保全への取組み
3.店舗戦略

IV 活力ある人事戦略
1.挑戦する人材の育成
2.人事制度・採用体制の最適運用・強化
3.行員ロイヤルティ・働きがい向上による活力アップ

V 経営基盤の強化
1.基礎的利益の持続的拡大
2.安定的な有価証券収益の確保
3.経営管理の強化

行動指針
Passion(熱意) & Team support(チーム対応)

用語解説

「CC」とは？

Customer Centric(カスタマーセントリック)の略語で、「お客様中心主義」を意味します。「お客様(カスタマー)を中心(セントリック)に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

「ロイヤルティの高いお客様」とは？

将来にわたって当行に利益をもたらす行動意図があるお客様のことで、
①他に選択肢があるにもかかわらず当行を選んでいただけるお客様
②当行との取引を永く続けていただけるお客様
③友人・知人・親戚に当行を紹介したり取引を奨めていただけるお客様
④不平・不満があったら正しく伝えてくださるお客様

2022年度 中間決算概要

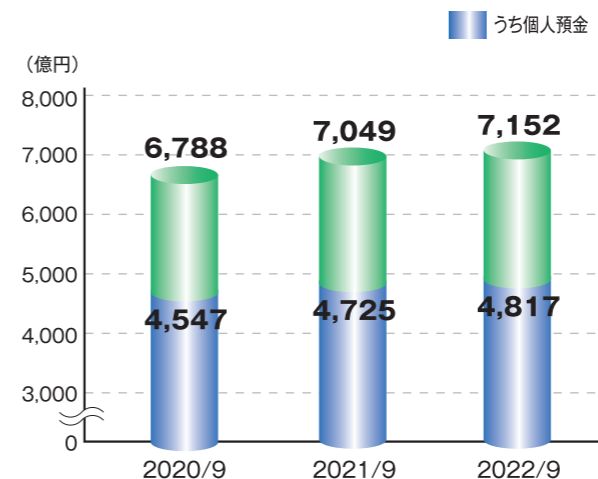
当中間期における我が国経済は、ロシアのウクライナ侵攻による資源価格の高騰や日米金利差拡大に伴う急速な円安による物価上昇等が、企業業績や個人消費に幅広く影響しました。また、新型コロナウイルス感染症については、前半は感染状況の落ち着きから宿泊・飲食サービス等の非製造業を中心に景況感の改善が見られましたが、7月以降の“第7波”により感染は再び急拡大し、足許では改善傾向にあるものの未だ収束時期は見通せず、当行の主要な営業エリアである静岡県・神奈川県地域経済におきましても、実体経済や景況感は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当行は2022年4月より第14次中期経営計画『深化』をスタートし、基本方針「お客様中心主義の深化」のもと、ビジネスモデルである「訪問頻度管理」を深化させ、お客様と地域に寄り添った支援を継続するとともに、外部環境・内部環境や認識する課題等を踏まえた新たな施策にも積極的に取り組んでまいりました。その結果、着実にお客様が増加し、次のような成果を収めることができました。

預金残高

～年間増加率1.4%～

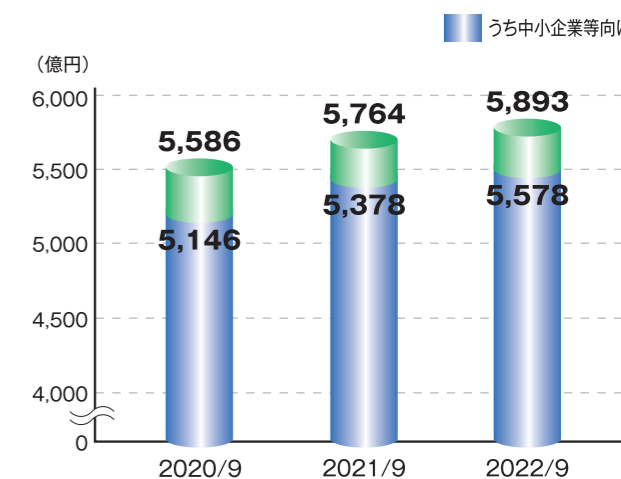
店頭・店周営業の着実な実践によって、個々のニーズやライフステージに応じた商品・サービスの提供に努めたこと等により、預金残高は前年同期末比103億円1.4%増加の7,152億円となりました。



貸出金残高

～年間増加率2.2%～

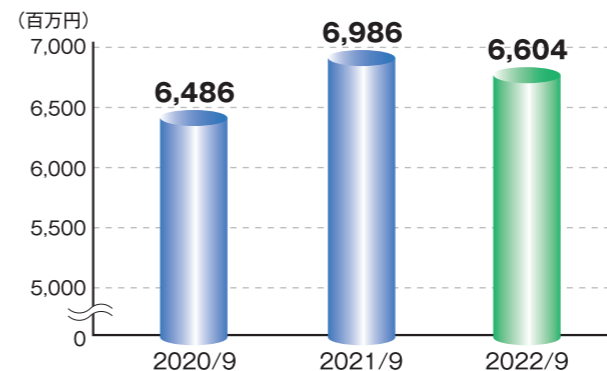
定期的な顧客訪問によって金融仲介機能の発揮に努め、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたお客様への継続的な金融支援等により、貸出金残高は前年同期末比129億円2.2%増加の5,893億円となりました。



経常収益

～貸出金利息 4年連続増加～

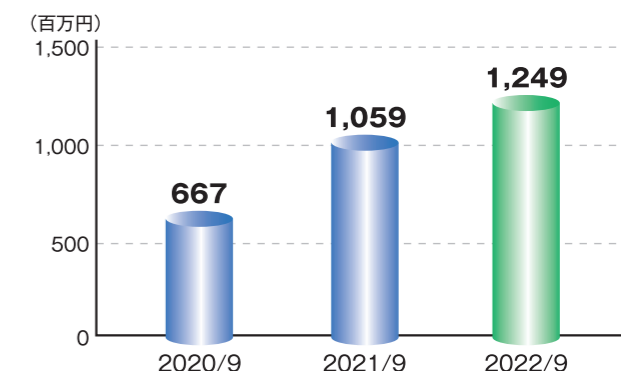
貸出金利息が4年連続で増加するなど、本業が堅調に推移したものの、有価証券利息配当金の減少等により、経常収益は前年同期比3億82百万円5.4%減収の66億4百万円となりました。



中間純利益

～2年連続の増益～

本業が堅調に推移したほか、与信費用や有価証券関係費用の減少等により、中間純利益は前年同期比1億89百万円17.8%増益の12億49百万円となりました。



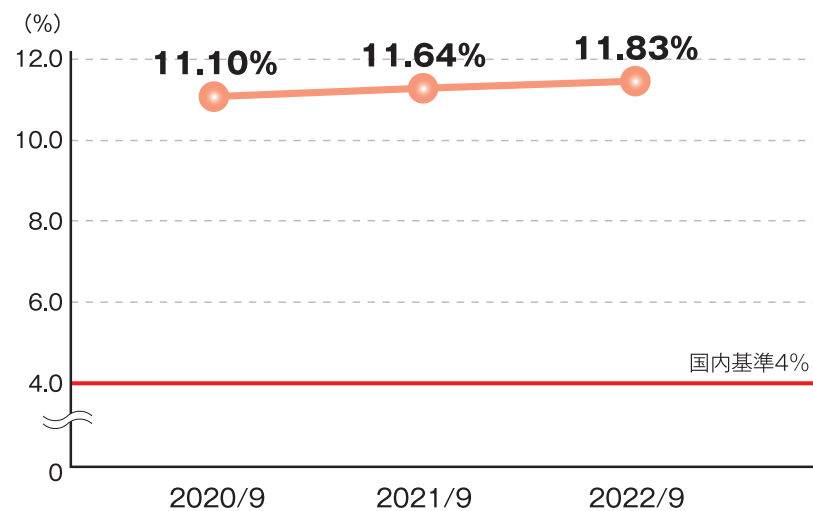
自己資本比率

11.83%

高水準の自己資本比率を堅持

自己資本比率は、銀行経営の健全性を示す重要な指標の一つとされており、国内基準で4%が求められております。

自己資本比率は11.83%と国内基準の4%を大きく上回り、高水準の自己資本比率を堅持しています。



金融再生法開示債権及びリスク管理債権比率

1.63%

1%台 高い健全性を維持

単位：百万円

	2021年9月期	2022年9月期
① 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,537	2,438
② 危険債権	6,053	7,192
③ 要管理債権	161	14
三月以上延滞債権	—	0
貸出条件緩和債権	161	13
小計 (A)	8,753	9,644
④ 正常債権	568,452	580,488
合計〔総与信残高(未残)〕(B)	577,205	590,133
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	1.51%	1.63%
担保・保証等による保全額、貸倒引当金 (C)	7,540	8,341
保全率 (C)/(A)	86.14%	86.48%

用語解説

①破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

②危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。

③要管理債権

- 三月以上延滞債権
元本または利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金。
- 貸出条件緩和債権
債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金。

④正常債権

債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記①～③以外に区分される債権。

保全の状況

保全率 86.48%と、保全状況は十分な水準にあります。

不良債権のうち「担保・保証等」や「貸倒引当金」で86.48%カバーされています。これらの不良債権には通常の返済が見込まれる先も多く含まれており、全てが損失となるわけではなく保全状況についても十分な水準にあります。また担保・保証等、貸倒引当金でカバーされていない部分につきましても自己資本で十分にカバーできます。



地域密着型金融の推進

地域密着型金融及び金融仲介機能に係る基本方針

「中期経営計画」＝「地域密着型金融」として積極的に推進

- ◎金融仲介機能を発揮し、地域企業や地域経済の発展に貢献する取組みを実践。
- ◎地域金融機関として、“地域と共に持続的な成長”を目指す。

～お客様・地域社会のベストパートナーの実現に向けて～

細部に亘るマーケティングの徹底と営業店での「チーム対応」により、事業性評価向上・経営改善等本業支援促進を図り、お客様のライフステージに応じた金融仲介機能の更なる発揮に努めてまいります。

1. 事業性評価向上による本業支援とコンサルティング機能の発揮

○「訪問頻度管理」による定期的な顧客訪問の徹底により、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたお客様に継続して寄り添い、業況やニーズを迅速且つ適切に把握することで、資金繰り支援、経営改善・事業再生・事業転換支援等に積極的に取組むなど、「事業性評価」の取組みを積極的に展開した結果、着実にコンサルティング機能を発揮することができました。

本業支援による金融仲介機能の発揮

当行では、地域金融機関の使命として、従来以上にマーケティングや外部専門機関との連携を強化し、地域のお客様に対する円滑な資金供給、各種ソリューションの提供等により、金融仲介機能の発揮に努めております。

今後も「訪問頻度管理」によるお客様への定期的な訪問を徹底し、「本業支援ヒアリングシート」※を活用することで、取引先の実業内容やニーズ等の把握に努め、そのニーズに対する迅速な対応、各種情報提供等に積極的に取組んでまいります。

※取引先の実業性や成長可能性等を適切に評価し、助言・支援する当行独自のツール。



新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆さまへの対応

- 各種相談体制の充実
新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた事業者への資金繰り支援、住宅ローンをご利用のお客様の返済条件見直し等のご相談に適切且つ迅速にお応えするため、すべての営業店に相談窓口を設置しております。また、電話相談窓口(0120-622-980)も設置しておりますので、お気軽にご相談ください。
- 融資条件変更手数料の免除
新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた法人、個人事業主および個人のお客様を対象に、ご融資の返済条件を変更する際の手数料を2023年3月31日申込分まで免除※しております。
※初回の条件変更お申込み時に限ります。

地域密着型金融の推進

「資金繰り表作成サポートサービス」
～資金繰り表作成ツールを無償で提供～

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、「資金繰り」に不安を抱える事業者への支援の一環として「資金繰り表作成サポートサービス」を2021年10月より開始いたしました。

- 「資金繰り表作成ツール」、「資金繰り表作成補助シート」を無償で提供
- 簡単操作で資金繰り表を作成
- 資金繰りを「見える化」し、資金繰りに関する不安を解消



「資金繰り表作成ツール」および「資金繰り表作成補助シート」は当行ホームページの「法人・個人事業主のお客さま」トップページの「しずちゅう資金繰り表作成サポートサービス」のバナーからダウンロードできます。

静岡中央銀行 資金繰り表

検索

もしくはQRコードでアクセスしてください



外部専門機関との連携強化
～専門的ニーズに積極的に対応～

当行では、お客様の事業承継・M&A・相続・補助金申請サポート等、より専門的なニーズに対し、外部専門機関と連携しながら積極的に対応しております。

- 「事業承継無料診断サービス」
当行が業務提携している外部専門機関が、自社株評価や事業承継に関わる課題および解決の方向性について“無料”で提案書を作成し、お客様にとって最適な手段をご提案いたします。



- 外部専門機関との連携強化（2022年12月31日現在 11分野・60社）

お客様の専門的ニーズに対応するため、各分野で多くの支援実績がある外部専門機関と業務提携契約を締結しております。今後も、業務提携先・業務提携分野を順次拡大し、お客様の課題解決のサポートに積極的に取り組んでまいります。

提携分野

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 相続・事業承継・M&A | ⑦ システム導入関連 |
| ② 補助金申請 | ⑧ 節税関連 |
| ③ 人材紹介 | ⑨ 企業支援・コンサル関連 |
| ④ 建設・不動産関係 | ⑩ 経費削減関連 |
| ⑤ 販路開拓 | ⑪ その他 |
| ⑥ リース関連 | |

経営者保証に関するガイドラインへの対応方針

当行では、従来からご融資の際に個人保証をご提供いただく場合には、ご契約時に保証意思等を慎重に確認させていただく等の対応に努めております。なお、既に公表されている、「経営者保証に関するガイドライン」に対しても、これを尊重し、遵守するための態勢を整備しております。

今後もお客様と保証契約の締結等を行う場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めてまいります。

経営者保証に関するガイドラインの活用状況

	2022年度実績(2022年4月～9月)
新規に無保証で融資した件数	448件
保証契約を変更・解除した件数	50件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	21.9%

2. 地域経済活性化への貢献と地域の面的再生への積極的な参画

- 第14次中期経営計画『深化』において、基本方針である「お客様中心主義の深化」のもと、持続可能なビジネスモデルの深化を図り、お客様に寄り添いながらニーズや課題に応える（解決する）努力を続け、地域の皆さまやお客様のニーズに合った商品・サービスの提供、諸施策の推進に努めた結果、着実に成果を収めることができました。

通帳アプリ「静岡中央銀行 かんたん通帳」取扱開始

お客様の利便性向上を目的に、株式会社マネーフォワードが提供するスマートフォン用通帳アプリ「静岡中央銀行 かんたん通帳」の取扱いを2022年10月より開始いたしました。

「静岡中央銀行 かんたん通帳」は、当行とお取引のある個人および個人事業主のお客さまの対象口座とアプリを連携することで、口座残高・取引明細をリアルタイムで確認できる便利なサービスとなります。



かんたん通帳
アプリの
ダウンロードはこちら



「ご近所応援定期“エール”」好評販売中

2021年度に大変好評であった「ご近所応援定期“エール”」の取扱いを継続し、2022年4月より販売を開始いたしました。

店舗窓口限定の定期預金で、安定した資金運用手段の提供により、店舗周辺のお客様との“つながり・親しみ”を大切に、地域のお客様のライフプランをサポートいたします。

- 取扱期間：2022年4月1日～2023年3月31日
- 対象：個人のお客さま
※店舗窓口にご来店いただいた方限定
- 預入期間：1年
- 適用金利：年0.1%
- 預入金額：10万円～300万円以内



お客様本位の業務運営に関する取組み

お客様本位の取組みの徹底に向けて、今後も全役職員がお客様本位の姿勢を共有し、商品・サービスの更なる向上に取り組んでまいります。

- 重要な情報の分かりやすい提供
タブレットを全店に導入し、より分かりやすく商品の特色・リスク・手数料ならびに市場動向等の説明を行うよう努めております。
- お客様にふさわしいサービスの提供
お客様の多様なニーズに合った最適な商品を選択できるよう、商品ラインアップの充実に努めております。
・2022年4月 「医療保険」「がん保険」一部店舗で取扱開始
・2022年7月 投資信託3商品追加 ⇒ 計47商品

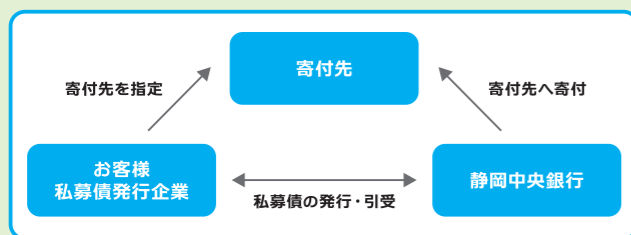


地域密着型金融の推進

「しずちゅうSDGs私募債」取扱開始

2022年4月より「しずちゅうSDGs私募債」の取扱いを開始いたしました。

「しずちゅうSDGs私募債」は、当行が私募債を発行されるお客様から受け取る発行手数料の一部を活用し、SDGsに貢献する取組みを行っている団体等に寄付を行う私募債であり、2022年4月に第1回目の私募債を受託いたしました。



第1号発行企業への記念盾贈呈式

●「ふじのくに」静岡の魅力を県内外に紹介

「富士山フォトコンテスト」開催

当行では、1958年以来、富士山の風景写真を使用したカレンダーを毎年発行しており、大変ご好評いただいております。

また、2011年5月より富士山の写真をテーマにフォトコンテストを開催しており、今年は応募者207名、応募点数608点と全国の写真愛好家の方から多数の作品をご応募いただきました。

【最優秀賞】作品名「春雪の朝」 稲 朋和 様

※本誌のp1~2の写真が最優秀賞作品です。
なお、当行の2023年カレンダーにも採用させていただいております。



●スポーツを通じた地域の学童支援

「第10回 しずちゅう旗 静岡県学童軟式野球記念大会」開催

当行では、2012年より学童の心身の健全な育成支援のため、「しずちゅう旗静岡県学童軟式野球大会」（「静岡県野球連盟」および「静岡県野球連盟少年部」主催）に特別協賛しており、2022年は6月に「第10回記念大会」として開催いたしました。

また、同予選会を対象に「はつらつプレーフォトコンテスト」を開催し、入賞作品のホームページへの掲載や当行本支店での写真展も開催しております。



第10回記念大会優勝チーム リトルジャイアンツ(三島)

「SDGs推進等に関する包括連携協定」締結

取引先企業のSDGs推進等への取組みを積極的に支援するため、2022年7月に損害保険ジャパン株式会社、2022年8月に東京海上日動火災保険株式会社と「SDGs推進等に関する包括連携協定」を締結いたしました。

本協定により、2社が培ったSDGs推進等に関する知見やノウハウを活用するとともに、さまざまな分野で相互に連携を図り、地域の課題解決と持続可能な社会の実現に向けた取組みをより一層強化してまいります。



損害保険ジャパン株式会社 中西常務執行役員 当行 清野社長

台風による災害に遭われた皆さまへの対応

2022年8月の台風8号および9月の台風15号による災害に遭われました皆さまには、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当行では、被災されたお客様のご事情に応じた対応をさせていただいておりますので、お取引店もしくは最寄りの店舗にご来店、またはお電話にてご相談ください。

● 融資条件変更手数料の免除

台風15号による災害に遭われた法人、個人事業主および個人のお客様のご融資の返済条件を変更する際の手数料を当面の間免除しております。



台風8号の影響で、特に甚大な被害を受けられた松崎町に寄付金を贈呈しました。

上記フォトコンテスト受賞作品は、当行ホームページにてご覧いただけます。
当行ホームページのトップページにある「富士山ギャラリー」または「しずちゅう旗学童軟式野球大会の開催について」のバナー、もしくはQRコードからご覧ください。

「富士山ギャラリー」



「しずちゅう旗学童軟式野球大会」



3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- ホームページ等で地域密着型金融の取組状況等を発信する際には、グラフや図形等を活用し、お客様目線に立った分かりやすい情報発信に努めました。

地域密着型金融及び金融仲介機能の取組状況の詳細はホームページに公表しております。

<http://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>

“お客様・地域社会と共に発展しベストパートナー
として信頼される銀行”を目指します。



静岡中央銀行

THE SHIZUOKACHUO BANK,LTD.

■発行 2023年1月

株式会社静岡中央銀行/経営管理部

〒410-0801 沼津市大手町4丁目76番地

TEL.055-962-6113

■ホームページアドレス

<http://www.shizuokachuo-bank.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境に配慮し、植物インクを
使用しています。